

平成21年6月16日

指導者 三條 香織

場 所 4年2組教室

- 1 単元名 本と友達になろう
教材名 「白いぼうし」(物語)
「本は友達」

2 単元の目標

○物語を楽しみながら読み、読んだ本のおもしろさを伝えようとする。【関心・意欲・態度】

○知らせたい事柄を収集したり選択したりし、中心をはっきりさせて書くことができる。

【書くこと ウ】

○情景や登場人物の様子を叙述を基にしながら読み、自分の感想を持つとともに、自分と友達の受け止め方に違いがあることに気づくことができる。【読むこと ウオ】

○本の探し方がわかり、いろいろな読み物から興味のある本を探して読むことができる。

【読むこと カ】

3 学習を組織するにあたって

(1) 児童の実態 (略)

(2) 単元について(教材について)

本単元は「白いぼうし」と「本は友達」の2教材から成り立っている。全体で同じ物語を読み、次に自分で本を探して読む。そしておすすめの本を紹介する。登場人物の人柄を追っていったり、においや色からイメージをふくらませてみたり、不思議な出来事について自分なりに考えてみたりする。それをきっかけにおもしろさを味わい、その後自分の読んだ本のおもしろさを紹介する活動は、読書への関心をさらに高めるであろう。

「白いぼうし」はお客の紳士との会話、松井さんとちょうのやりとり、男の子とお母さんの様子などを温かく描いた作品である。ファンタジーの要素を多く持ち、においや色の表現も豊かである。子ども達は叙述を基に想像しながら豊かな表現を味わっていくことができると思われる。

「本は友達」では、「白いぼうし」で学習した物語へのアプローチの仕方を生かし、それぞれがじっくりと物語を読み味わうことができるであろう。それに加えて、友達に紹介する事も目的として読むことで、本の世界への興味をさらに持たせ広げることができる活動であると考え。

4 研究主題との関連

研究内容Ⅰ 基礎基本の定着

○単元及び本時の目標の明確化

単元名「本と友達になろう」を大事にし、登場人物についての考えを交流したり、不思議な出来事について話し合ったりすることをきっかけに、シリーズものやファンタジーなどさまざまな本と出会わせ、豊かな読書生活へつないでいけるような学習計画をたてる。

○自分の考えを持つために

内容を理解した上で想像をふくらませるようにするため、音読を繰り返し行う。

○言葉で伝え合うスキル

友達の話をも自分の考えと比べながら聞くようにさせ、それぞれ感じ方に違いがあることに気づかせていく。そのため根拠を明らかにして話すこと、自分の考えと比べて聞くこと、友達が話したのはどのページに書いてあるのかをすぐ確認することを指導していく。

研究内容Ⅱ かかわり合う授業づくり

○考える時間・場の工夫

一人で考える時間を確保し、自分の考えを持たせる。

○自己評価・相互評価

「考えを伝えられてよかった。聞くことができてよかった。」と実感させるために、友達の意見のよかったところやなるほどと思ったところ、自分の考えが変わったところなどを授業の最後に書かせる。

○交流形態の工夫

考えを伝え合う場面では、考えを羅列していくのではなく、視点をはっきりさせて考えを出すようにさせたい。自分と同じ考えでも根拠となる叙述は違うことに気づき、感じ方の違いに触れさせ学び合う楽しさを味わわせていきたい。

5 学習計画（全15時間 本時7時間目）

段階	主な学習活動 ※①②・・・は○時間目	☆研究主題との関連 ○留意事項
第一次	・難語句や新出漢字の読み方を確認する。 ・「白いぼうし」を読んで登場人物などをまとめ、初発の感想を書き交流する。 ①	☆《基礎基本の定着》 全員が感想を書くことができるように視点を与え十分な時間を確保する。
	・初発の感想から学習課題を決める。 ②	☆《かかわり合う授業づくり》 個々の感想を分類し、課題を設定する。自分の疑問や感じたことが必ずどこかで取り上げられるようにし、次時への意欲を持たせる。
第二次	・夏みかんにこめられた登場人物の思いを言動に着目して読み取る。 ③	☆《基礎基本の定着》 物語を象徴するものから、登場人物の気持ちを考えさせる。 ☆《かかわり合う授業作り》 友達の考えを聞いて参考になったことや、なるほどと思ったことや自分がかんばったことなどを書かせる。

	<p>・おもしろいと思う場面を出し合い、どんなところがおもしろいのか話し合う。 ④</p> <p>☆《基礎基本の定着》 不思議な出来事を叙述を基に確認しながら丁寧に読ませる。</p> <p>☆《かかわり合う授業作り》 友達の考えを聞いて参考になったことや、なるほどと思ったことや自分がかんばったことなどを書かせる。</p>
<p>・不思議だと思う場面を出し合い、どんなところが不思議なのか、それはどういうことなのか話し合う。 ⑤⑥</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 不思議さに浸るとともに、叙述を元に想像したことを話し合う活動を入れる。</p> <p>☆《かかわり合う授業作り》 友達の考えを聞いて参考になったことや、なるほどと思ったことや自分がかんばったことなどを書かせる。</p>
<p>・松井さんの人柄について、白いぼうし、不思議な出来事、女の子とのかかわりなどから読み取り話し合う。 ⑦（本時）</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 それぞれ感じた松井さんの人柄について交流させる。</p> <p>☆《かかわり合う授業作り》 友達の考えを聞いて参考になったことや、なるほどと思ったこと、この時間で自分がかんばったことなどを書かせる。</p>
<p>・もう一度物語全体を言葉や表現に気をつけて読み、学習後の自分の考えをまとめて発表する。 ⑧</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 色やにおいから場面を想像することができるということに気づかせる。学習を振り返り、物語を讀んでいく切り口は様々あることに気づかせる。</p> <p>○物語のさまざまな読み方についてまとめる。</p>
<p>第 三 次</p> <p>・「おすすめの本」について紹介するカードを作るという見通しを持つ。</p> <p>・本の探し方を知り、本を読む。 ⑨</p>	<p>○これまでの学習を振り返り、今後の学習の見通しを持たせる。</p> <p>☆《基礎基本の定着》 本の探し方を知り、今後の読書生活に生かしていく。</p>

<p>・カードの作り方を知り、紹介する内容を考える。 ⑩</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 一番おもしろいと思ったところを中心にそれぞれ書かせる。中心をはっきりさせ、相手に伝わるように書かせる。</p>
<p>・カードの下書きをする。 ⑪⑫</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 自分が伝えたいことをイラストやレイアウトを工夫させ、書かせていく。 ☆《かかわり合う授業作り》 書いたら自分で見直し、ペアでアドバイスをしあい、校正する。</p>
<p>・カードの清書をする。 ⑬</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 自分が伝えたいことをイラストやレイアウトを工夫させ、書かせていく。</p>
<p>・互いにカードを読み合い、友達の書き方のいいところを伝える。 ・読んでみたい本を決める。 ⑭</p>	<p>☆《かかわり合う授業作り》 相互に評価し合い、よかったところや直した方がいいところを伝え、今後に活かしていく。</p>
<p>・カード集を作り学習のまとめをする。 ⑮</p>	<p>○今後も本を読んだらカードを増やしていくことを伝え、これからの読書への意欲付けにする。</p>

5 本時の指導

(1) 目標 松井さんの人柄について、叙述を基に想像をふくらませて読むことができる。

【読むこと ウ】

(2) 評価規準

- 叙述を基に想像しながら松井さんの人柄について自分の考えを持ち、自分と友達の考え方の違いに気づくことができる。

規準に満たない児童には、夏みかんをおいたことや女の子とかかわっている様子を思い出すよう助言しそこからどういう人柄か考えさせる。また友達の考えをよく聞くようにさせる。

(3) 学習過程

段階	学習活動	○主な発問・指示 ・児童の反応	☆研究主題との関連 ○留意事項 □評価
導入 7分	1. 学習課題をつかむ	<p>○これまで、面白いと思った場面、不思議だと思ったところについてみんなで読んできましたね。</p> <p>○今日は物語の主人公の松井さんはどんな人なのか考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題：松井さんはどんな人か考えよう</div> <p>○めあてを考えながら音読しましょう。</p>	<p>○これまでの学習を振り返り、どのような読み方をしてきたか振り返る。</p> <p>☆《基礎基本の定着》 これまでの流れを振り返るために、全文を読む。</p>
展開 35分	<p>2. 自分の考えを持つ。 (7分)</p> <p>3. 話し合う (23分)</p>	<p>○松井さんはどんな人だと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい人 ・こどもにやさしくできる人 ・人の気持ちを考えられる人 ・ちょうのかわりにみかんをおく面白い人 <p>○松井さんがどんな人かわかるところに線を引きましょう。どこからそう考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せっかくのえものが〜」のところから、人の気持ちが考えられる人だと思いました。 	<p>□自分の考えを書くことができる。 (教科書・観察)</p> <p>☆《基礎基本の定着》 自分の考えの根拠を明らかにするためにサイドラインを引かせる。</p> <p>☆《基礎基本の定着》 「教科書の〜というところから〜と考えました。」と根拠を明らかにして話すように意識させる。</p>

	<p>4まとめる。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おっぱの女の子のことを驚いていない所から落ち着いた人だと思いました。 ・「おどろいただろうな〜」からやさしいけどユーモアのある人だと思いました。 <p>○友達の手紙で参考になったことをメモしましょう。</p> <p>○今日の課題に対する最後の自分の考えを書きましょう。</p> <p>○友達の手紙を聞いて参考になったことや、なるほどと思ったこと、この時間で自分ががんばったことなどを書きましょう。</p>	<p>☆《基礎基本の定着》 友達の手紙を、自分の考えと比べながらじっくり聞くようにさせる。</p> <p>□松井さんの人柄について根拠を明らかにして考えを持つことができたか。 (発表・教科書)</p> <p>☆《かかわり合う授業作り》 自己評価・相互評価をすることで達成感・満足感を持たせる。</p>
<p>終末 3分</p>	<p>5. 次時の予告を聞く。</p>	<p>○次はにおいや色を表す言葉から様子を考えていきましょう。</p>	

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">おもしろい人</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">思いやりのある人</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">やさしい人</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>松井さんはどんな人か考えよう</p> </div> <p style="text-align: center;">本と友達 白いぼうし</p>
---	---	--	---